

日進高校附属中学校Q&A

Q1：不登校でなければ入学・転入はできませんか。

A1：附属中学校は、不登校を経験した生徒のための学校です。また、特別支援学級ではなく、通常学級であり、常に個別支援を行うことはできません。

Q2：希望すれば必ず入学ができますか。

A2：定員を超える希望があった場合や、出願資格に該当しない場合はご希望に添えないことがあります。入学の可否については、在籍校との連携や面談等を通して、「入学生徒検討会」で判断します。

Q3：出願資格にある「原則として、欠席日数が年間30日以上の方」について、教えてください。

A3：欠席日数だけでなく、別室登校や、教育支援センター等で相談したり、指導を受けたりした日数、別室でICT等を活用して学習活動を行った日数を含めることができます。また、時期については原則、直近の1年間とします。ただし、現在不登校である、または、不登校傾向の見られる場合は、この限りではありません。個別にご相談ください。

Q4：年度途中の受け入れはありますか。

A4：在籍生徒数が募集人員の範囲内であれば、年度途中でも通学区域における中学校からの転入を可能とすることを検討しています。詳しくは、来年度お知らせします。

Q5：市町村にある教育支援センターとの違いはどこですか。

A5：市町村にある教育支援センターは、不登校児童生徒の学習活動に対する支援を行う教育施設です。附属中学校は公立の学校であり、国の認可を受けた教育課程に基づき、教育活動を行います。

Q6：通常の学校との違いはどこですか。

A6：始業時間は9時40分で、ゆとりをもって登校できます。基本は、午前2時間・午後2時間の4時間授業です。終業時間は15時25分です。学び直しに取り組む時間や自分の興味・関心の幅を広げる時間を取り入れていきます。

Q7：給食はありますか。

A7：牛乳を提供する予定です。また、希望する場合は、注文弁当を提供する予定です。お弁当を持参することもできます。

Q8：通学方法はどのような方法がよいですか。

A8：公共交通機関の利用、自転車の使用、徒歩、それらを組み合わせた形など、安全に登下校できるように、各家庭でお考えください。なお、自転車の使用について、距離による制限はありませんが、30分以内で登校できる範囲を目安とします。また、保護者による送迎も可能です。

Q9：学校で心が疲れたらどうしたらよいですか。

A9：保健室の他にリラックスメーカーや相談室を設置します。養護教諭やスクールカウンセラーを含めた全職員で相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、きめ細かに見守っていきます。

Q10：学校行事はありますか。

A10：学校行事として決定しているものは入学式と卒業式の2つです。校外学習やその他の行事については、入学するみなさんと相談しながら決定していきます。

Q11：部活動はありますか。

A11：附属中学校単独での開設はしない予定です。希望する生徒が、高校の部活動で高校生と一緒に安全を確保しながらできる仕組みを検討していきます。

Q12：制服や規則はありますか。

A12：学校生活にふさわしい服装であれば大丈夫です。希望すれば、高校生と同じ制服を着用することもできます。みんなが心地よく生活するためのルールやマナーについては、みなさんと相談しながら決定していきます。

Q13：クラスはありますか。

A13：1学級 20人程度を想定しています。チーム担任制として担任を複数配置することで、一人ひとりに寄り添い、チームで支援していきます。また、各家庭から相談したいことがある場合の相談窓口（担当教員）をお知らせしますので、気軽にご相談ください。

Q14：中学校を卒業した後の進路はどうなりますか。

A14：入学者選抜を経ず日進高校の普通コース、または、学びの多様化コースへ進学することができます。他の高等学校への進学を希望する場合は、個別に対応させていただきます。